発言順位	２番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和　６年　２月　１５日

三島市議会議長　　藤江　康儀　様

三島市議会議員　１７番　　野村　諒子

質問事項及び具体的内容

三島駅南口東街区の再開発に向けた工事が着手され、まちが大きく変わる転換点を迎えています。まちの発展が期待される一方で、少子高齢化が更に進み、また災害への十分な備えも必要であると言われる中で、安定した市政運営は非常に難しいと感じています。

しかし、まちが大きく変わろうとしている時期であるからこそ、将来への責任と長期的な視野を持ったぶれない市政運営が求められます。

このような視点から、令和６年度施政方針について伺います。

１　過去最大規模となった財政について

⑴　最大規模となった理由と、令和６年度予算の特徴は何か。

⑵　自主財源を増やす取り組みはあるか。（特に市税、寄附金等）

⑶　新庁舎建設等大型事業の資金の備えはどうか。

⑷　市債残高の令和５年度との比較と今後の見通しはどうか。

２　激甚災害を想定した取り組みについて

⑴　地震災害を想定した上下水道整備への取り組みはあるか。

⑵　液状化に対する調査、備えについて

⑶　これまで想定していなかった課題への取り組みを進めることはできるか。

（二次避難、災害ボランティア連絡会の立ち上げ、市内在住外国人への対応等）

３　少子化の進む現状に対応した子どもの健全育成

⑴　今後の新生児数の見通しと少子化を抑える対策

⑵　小規模校（２クラス以下）の多い三島市内小学校の適正配置への取り組み

４　観光交流人口の増加への取り組み

⑴　さらなる観光交流人口の増加に向けた新たな取り組みについて

⑵　三島市内製造の土産物開発、販売商品を増やす取り組みについて

⑶　観光交流から移住につなげる取り組みはどうか。

５　働く人に選ばれるまちへの取り組み

⑴　若い世帯の移住を促進するための取り組みについて

⑵　外国人も住みやすいまちに向け、日本語の学習機会の拡充を図る取り組みについて